

令和元年度 第12回教育委員会定例会

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
議案第6号 令和2年度以降の垂水市学校医・薬剤師の委嘱について	令和2年度以降の垂水市学校医・薬剤師を委嘱しようとするものである。 (任期) 学校医：2年 学校薬剤師：1年	特記事項なし	承認
議案第7号 垂水市学校管理規則の一部改正について	垂水市学校管理規則の一部文言整理と学校の教職員の在校等時間の上限等に関する方針を規則を新たに定めようとするものである。	特記事項なし	承認
議案第8号 令和2年度『垂水市の教育』基本方針について	令和2年度垂水市の教育行政の運営に関する基本方針を定めようとするものである。	特記事項なし	承認

令和元年度 第 12 回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
令和元年 3 月 10 日（火） 午後 2 時 0 0 分 ↓ 午後 3 時 3 5 分 第 2 研修室	教 育 長 坂 元 裕 人 教 育 委 員 田 原 正 人 教 育 委 員 葛 迫 幸 平 教 育 委 員 田之上 厚 美 教 育 委 員 福 里 由 加	教育総務課長 紺 屋 昭 男 学校教育課長 明 石 浩 久 社会教育課長 野 嶋 正 人 国体推進課長 米 田 昭 嗣

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、令和元年度第12回教育委員会定例会を開会した。
議案第6号、第7号の議案2件は非公開で審議する旨、教育長から発議があり、全会
一致で議決された。

2 令和元年度第11回定例会会議録の承認

承認

3 議 事

議案第 6 号 令和2年度以降の垂水市学校医・薬剤師の委嘱について
議案第 7 号 垂水市学校管理規則の一部改正について
議案第 8 号 令和2年度『垂水市の教育』基本方針について

4 その他

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉 会

議事内容等

3 議 事	議案第 6 号 令和 2 年度以降の垂水市学校医・薬剤師の委嘱について (非公開) 議案第 7 号 垂水市学校管理規則の一部改正について (非公開) 議案第 8 号 令和 2 年度『垂水市の教育』基本方針について 令和 2 年度垂水市の教育行政の運営に関する基本方針を定めようとする ことについて、その内容を説明。
教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長 国体推進課長	
田原委員	総合七つのプランについて、「ティーチャー・ラーニング」プランが削除されているが、どうしてか。
教育長	総合七つのプランからは削除しているが、プランをやらないというわけではない。子どもや親に視点を当てた形で作成したところだ。
田原委員	わかった。子どもと親に視点を当てたほうがよいと思う。 総合七つのプランに、新たに「英語力向上総合」プランが記載されていることはこれからの時代としてはよいことである。
葛迫委員	「英語力向上総合」プランの中で、垂水キッズイングリッシュクラブとあり、「ALT を講師とする土曜授業による」とあるが、毎週行うということか。土曜授業のない日に実施するということか。
教育長	そのとおりだ。 中学生の「夢の実現！学びの教室」の時間帯とあわせて、ALT に来てもらって小学生の子どもたちに教えてもらうものだ。 年間、ALT に無理のない程度に実施してもらうものだ。
葛迫委員	わかった。
田原委員	新たな事業として、業務改善推進事業とあるが先ほど議案であった、超過勤務等の関係も連動しているということか。
教育長	そのことも含めて、位置付けられる。校務支援システムを導入し、教師の働き方改革のための一環だ。
田原委員	中学校では、部活動の指導が超過勤務となっている要因が多いと思う。このシステムを導入することで、時間を遵守して指導していければと思う。

教育長	部活動の大会においては、冠大会も多くあることから、精選して月 1 回の出場をお願いしているが、なかなか調整が難しいようである。しかしながら働き方改革を言う時代であるので、指導者や保護者の方々などのご理解をいただきながら適正な時間の中で、参加していただきたいと思う。
田原委員	超過勤務時間の上限は、土日も含めての時間か。
教育長	そのとおりだ。
田原委員	管理職も、ちゃんとチェックするとか、指導するとかしないといけないと思う。
教育長	そこは大事で、強い部活動においては、なかなか難しいこともあるが理解をいただきながら、限られた時間の中で部活動を行ってほしいと思う。
田原委員	わかった。
教育長	異議がないので、議案第 8 号は承認する。
4 その他	なし
5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告
教育長	委員並びに教育長及び課長の報告に入る。
田原委員	1. 「白山神社の降神祭について」 4 月 5 日に予定されていた、「おんだんこら祭り」は、新型コロナウイルスの感染拡大の恐れがあるということで中止した。しかし、当日の神事はささやかに実施しようということとなった。 その前段となる行事が降神祭である。白山神社の神様を氏子である段集落の代表と上之宮神社の役員が白山まで登って、榊に神様を乗せてくる行事を 3 月 15 日に行うこととなっている。 白山神社の神様を、段集落の持ち回りの家で、郷土料理をもてなし最後は上之宮神社に神様を連れてきて泊まってもらい、次の日の朝儀式をして一旦、白山に帰ってもらうものだ。 4 月 5 日の「おんだんこら」当日は、三和センターグラウンドにこの榊を飾って祭壇を作り、その日は直接白山から降りてきてもらって、「おんだんこら祭り」の神事を進める。 公民館の役員になるまでは、このような内情は全く知らないまま行事に参加していたが、ここ数年公民館活動に関わることで初めて知った。神様

葛迫委員	の世界は何かと不合理なこともあるが、先輩たちが延々と続けてきていることに敬意を表したい。 1. 「和田英作・和田香苗記念絵画コンクールについて」 2月27日（木）、令和2年度の「和田英作・和田香苗記念絵画コンクール」の開催予定を社会教育課長と文化スポーツ係の係長、職員と一緒に開催要項(案)をたてた。 来年度は、市民館が補強工事で使用できなくなるため、どこで開催するか検討した。「森の駅たるみず」、「キララドーム」と意見が出たが、文化会館で開催することに決定した。 日程に関しては、本年度同様、11月から12月初めにかけて開催する予定である。11月22日(日)、23日(月)を作品搬入、審査は例年だと金曜日に行っていたが、来年度からは木曜日に行くこととした。 理由としては、金曜日に審査すると、どうしても審査結果の郵送が次の週の中ごろにずれ込むことで、出品者に迷惑がかかっていたからだ。そのようなこともあり本年度は審査日に審査結果を郵送したが、職員の事務手続きがタイトになってしまった。そのような状況であったため、11月26日(木)に審査を行うこととし、審査員の方々にも了承してもらった。 展覧会は、12月6日(日)から13日(日)までとし、6日に表彰式、13日をギャラリートーク、搬出日という案で決まり、また、来年度も優秀作品を「垂水街角美術館」でも展示することに了承を得たところである。
田之上委員	1. 「垂水カップフェンシング競技大会について」 2月16日（日）、垂水カップフェンシング大会を観戦した。 垂水市体育館は、朝早くから元気な熱気に包まれ、昨年、全日本フェンシング大会があったような雰囲気を感じた。 開会式では、本市の児童が立派な選手宣誓を行い、試合にも数名の本市の子どもたちが出場してくれて、頼もしく思いながら応援することだった。 2. 「新型コロナウイルスについて」 新型コロナウイルスの感染防止対応のため、学校が急遽休みとなり、子どもたちがどのような生活をしているのか気にしているところである。 子どもたちだけで、留守番をしている家庭もあれば、たっぷり時間があるので、いろいろな工夫をしながら保護者が子どもと過ごしている家庭もあるのかなあと思っているところである。 外遊びをしても、何か変に思われたり、長い休みの中で少年団活動や部活動もできなかったりする状況で、外出にも制約がある中で、子どもたちが精神的にも、体の面でも健やかで何とか乗り越えていってほしいと思っている。 長期休業になることで、登校が難しかった子どもが、学校に出てこられるようになっていたのに、また新学期に登校が難しくなる子どもがいないように願っている。このようなとき、公立高校入試が予定どおりに実施されたことに、「よかったなあ。」と思うとともに、全員が合格してくれるこ

	とを願っている。 それと、児童クラブについて話をしたい。 今回の新型コロナウイルスで、児童クラブは開設することとなった。児童クラブとしても、初めてのことであり、インフルエンザとは違い、緊張した中で、「どこまで準備したらいいのだろう。」と思った。 市販のマスクや消毒液もない状況で、市の担当課へも相談に行ったが在庫があまりない状況ではあったが、多少提供いただいた。しかしながら、「いただいた分がなくなったらどうしようか。」と不安に思いながら、長期化しないことを願うことである。児童クラブの利用児童は、さほど変わらないが、今後、家で生活が嫌になって利用する子どもが、少し増えてくるのではないかと思っている。利用する子どもの保護者には、朝、検温し、熱がある場合は利用させない、外遊びなどのあとの手洗の励行を徹底するなど児童クラブでも取り組んでいる。今現在、児童クラブの子どもたちは元気に過ごしているところである。
福里委員	1. 「垂水カップフェンシング大会について」 姪が、大会に出るということで応援を兼ねて観戦した。 ルールが全くわからないので、周りの人たちや兄に聞きながら観戦し、姪がやっていることもあり、すごく身近な競技となった。 残念ながら、1回も勝つことはできなかった。姪は、試合の途中で泣いたりすることもあり、本人は「もう、しない。」と言うのではと兄は思っていたが、練習もすぐ行きたいと言ったりして、すごくよい経験になったのではないだろうかと思うことだった。 今までフェンシングを観る機会はそんなになかったが、すごく楽しいなあと思い観戦することだった。 2. 「学校休業について」 新型コロナの感染予防で学校が休業となった。子どもたちは、いつもは休みになってうれしいが、今回の休みで学校に行けないということは、子どもにとってはすごく残念なことみたいで、「今の時間は何をするかな」と言ったりしていた。 幼稚園では、自由登園という形で保護者に連絡し、協力をいただいているところで、小・中学生は、外出等の制限もあり、大変不便な思いをしているが、園児についてはそのような制限がないため、自由に外出している家庭もあるようで、みんなが協力していってほしいと思うところである。
教育長	1. 「新型コロナウイルスについて」 今回の新型コロナウイルス症の対策会議が市役所でも行われ、各課の情報共有を図るとともに、発症したときの対応や本市から感染者を出さないための取組など、さまざまな話があった。 その中で感じたのは、のきなみ、子どもや大人のイベント事が中止や延期となり、3月から4月にかけて様々なしわ寄せが出てきているのだなあと思った。

教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長 国体推進課長 6 閉 会	いちばん困惑しているのは、子どもなのかなあと思っている。学校の臨時休業となったこの一週間が大変長く感じた。 学童に来ている子どもたちは子ども同士の交流があり、そこまでないと思うが、家で、まさに子どもたちだけで過ごしている家庭では、スマホやゲームばかりやっていて、逆にストレスを溜め込んだりしていると思え、先ほど委員方がおっしゃったように体もだが、心こそ心配で、この一週間で基本的な生活習慣も崩れてきているのではないかとと思っている。 それと、先ほどあった不登校の問題もあり、気を配らなければならないと感じている。学校としても考えなければならないことが多い。再開したときの子どもへの対応など難しいなあと感じることであった。 しかしながら、国の方針や他市町の状況など、ぐっところえなければならない時期である。何とかこの難局を乗り越えていかなければならないと思っているが、先の見えない怖さはどうしてもある。 このような中、卒業式も様々な制限の中で、心に残る卒業式を行っていただくよう校長先生方をお願いをしたところであり、かなり制約を強いているが校長先生の裁量の中でやっていただきたいと思っている。 2. 「垂水高校東進合宿について」 2月21日から22日、例年垂水高校で行っている東進ハイスクールの徹夜合宿に出席した。当初、生徒は10名の参加予定だったが、結果当日は16名の参加となり非常によかった。 このような場面に参加することで、子どもたちの目の輝きは違うと思う。「よしやるぞ。」という参加する気持ちがこちらにも伝わってきた。 昨年度は宮崎公立大学、本年度は北九州市立大学合格と、この後に続く子どもたちがこの合宿の中から出てくれればと願いながら、その様子を見せてもらうことだった。 単語と熟語を覚えさせるという合宿であった。子どもの表情もこの合宿で変わっていくようである。このような機会があるというのも、東進ハイスクールの永瀬社長や講師の方々のおかげであると思う。このようなよい教育環境があるので、垂水高校への進学者が増えてほしいと思うことだった。 2月11日から3月10日までの主な行事等について報告。 併せて、4月10日までの行事予定についてお知らせした。
---	--